

学習だより

第4号

宇都宮市立姿川中学校学習指導部

令和2年6月5日発行

文責 大島 信子

今週から授業が再開しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、3月から年度をまたぎ約3か月間も臨時休業となったのは、初めてのことです。この間に登校日が数日ありましたが、皆さんにとって、学校の生活リズムに慣れるのには、少し時間が必要なことでしょう。また、自分自身と周囲の人の健康を守るための対策（手洗い・うがい・マスク着用・3密を避けることなど）は、気を緩めずに、これまで通り実践していかなければならないことです。新しい生活様式を身に付け、学校においては先生の指示に従って、安全な中で、お互いに気持ちよく安心して学習できるようにしていきたいと思います。皆さん、心を一つにして頑張っていきましょう。

令和2年度 学校スローガン

「未来に向け、自主・垂範・創造 そして思いやり」



始業式のテレビ放送で、校長先生から今年度の学校スローガンについてお話がありました。このスローガンに基づいて、学習における具体的な姿をイメージしてみました。（一つの例として）

自主：進んで授業中の学習活動に取り組む。計画を立てて、自分から家庭学習に取り組む。分からないことをそのままにせず、質問したり調べたりして解決する。他のよい方法を取り入れる。

垂範：自分でやってみてうまくいったことや望ましいやり方を進んで実行する。さらに、友達にも積極的に伝えて一緒にやってみる。

創造：課題を解決する際に、見通しをもち、よく考えて、より良い方法を導き出す。一つの考え方に固執せず、いろいろな考え方やそれぞれの良さに気付き、新しいものや方法を作り出す。

思いやり：一人一人の違いを認め、自分の考えも相手の考えも両方大切にする。授業中、間違った答えを言った人を笑ったり茶化したりせず、安心して学習できる雰囲気をみんなでつくる。互いの良さや頑張りを認め、励まし合って、一緒に成長していこうとする温かい雰囲気をつくる。

日々の積み重ねが、自分自身を成長させます。1年後どのようになっていたいか自分の姿をイメージして、今年度の自分の目標をもち、一日一日を大切にしていきましょう。

学習の重点目標

- ◇ 基本的な学習態度を身に付けること
- ◇ 家庭学習の習慣を身に付けること



学校は「学習する場」であり、「公共の場」です。一人一人が安心して学習に取り組み、学力を高めていくために、【学習の約束】を理解し、集中して授業に取り組むことが大切です。また、授業で学んだことを確かなものにしていくために、【家庭学習の習慣】を身に付けることが大切です。

では、どのようなことをしたらよいのか、裏面で詳しく説明します。

【学習の約束】

- 1 チャイム2分前着席。
- 2 きちんと「起立」「礼」「着席」、正しい姿勢で椅子にすわる。「**基本姿勢**」
- 3 指名されたら、「はい」と返事する。
- 4 授業中、私語をせず、集中して学習する。
- 5 自分の意見をはっきりと発言し、友達の発表や先生の説明をしっかり聞く。
- 6 忘れ物をなくし、提出物は期限を守って必ず提出する。

【基本姿勢】

- 1 背もたれに背中をつけないようにいすに座る。
- 2 両足の底をピタリと床につける。
- 3 立っている時の腰のカーブを再現する。(骨盤を立てる感じ)
- 4 手のひらを上にして肩の力をぬいて足の付け根に置く。

<ポイント>

この姿勢は、体の軸をまっすぐにすることで、体幹を鍛え筋力とバランス感覚を養います。基本の姿勢は心が落ち着き、集中力がでてやる気が出ます。脳に酸素を取り入れやすくなり、脳が活性化します。

朝の会や授業の始めに基本姿勢を意識することで、学習に取り組む正しい体の姿勢と心構えをつくりましょう。これは、姿川地域学校園の取組として、小学校、中学校の両方で行っています。



【家庭学習の習慣化に向けて】

- 自主学习ノートを全員に1冊ずつ配付しました。毎日1ページ以上学習し、次の日に提出します。
どんなことを学習したらよいかは、「**家庭学習の手引き**」を参考にして、自分の力を伸ばすための学習を積み重ねていきましょう。
- 帰りの会で、その日、家に帰って学習する内容を、自主学习ノートの枠外（上部）に簡潔に書いておきます。家に帰ったら、それを見てすぐに取り掛かりましょう。また、宿題をやり、次の日の持ち物を準備する習慣を身に付けましょう。
- 家に帰ってからの時間の使い方を工夫しましょう。勉強をしない日を作らないようにします。
- 各学年の平日の目標時間

1年生：1時間30分以上	2年生：2時間以上	3年生：3時間以上
--------------	-----------	-----------

目標時間は、その日の宿題や予習・復習をするのに必要だと思われる時間です。この時間だけ机に向かっていればよいということではありません。効率的に学習することで、これより短時間でも成果を上げることは可能です。

- 置き勉（学校に教科書やノートを置いたままにすること）はせず、荷物は多少重くても、持ち帰るべき教科書等の学習用具は、きちんと持ち帰りましょう。また、学校に置いていってよい学習用具については「家庭学習の手引き」に書いてあります。よく見て、必要以上の荷物の持ち帰りはやめましょう。

